

児童生徒と向き合う時間の確保とワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

【新温泉町立照来小学校】

取 組 目 標		目標達成に向けた具体的な取組	10 月末までの取組状況	成 果	課 題
1	①定時退勤日・ノー会議デーの完全実施	①毎週金曜日を定時退勤日 17:30・ノー会議デーとする。	定時退勤日やノー会議デー、超過勤務限度目標の設定および計画的な年休取得の働きかけは実施できた。	取組目標に退勤時間を意識する教職員が増え、タイムマネジメントの意識高揚を図ることができている。 また、年間を見通すなかで、夏季休業期間中に年休取得を行う職員は多い。	退勤時間を早めても早朝に業務を行わざるを得ない場合もあり、組織的な業務量の縮減が必要である。 「ワーク・ライフ・バランス実現に向けて～教職員のための休暇制度等～（県教委）」のとおり、夏季休暇を原則として連続する 5 日となるようにしたい。
	②タイム・マネジメント意識の高揚	②毎月の超過勤務限度目標時間を設定し、タイム・マネジメント意識を高める。黒板に退勤時刻を表示し意識化を図る。			
	③年休取得の推進	③計画的な年休取得を働きかける。（年間 10 日以上）			
2	①校務の電子化	①行事アンケートや学校評価や保護者アンケートなどで Google フォームの活用し、業務改善を行う。 また、QR コードの活用を推進する。	集計に時間がかかるアンケート業務は概ね電子化を進めることができている。 また、図書ボランティアによる読み聞かせや図書室の整備は引き続きお願いすることができている。	アンケートの電子化は明らかな業務量縮減となっている。引き続きアンケート対象に応じて紙媒体と電子媒体の使い分けをしていきたい。 地域の力による図書室の整備や読み聞かせは大変有難い。資源回収コンテナの収益は R6 環境整備に活用できる見込みである。	校務の電子化は進んでいるが、国のガイドラインの通り校外での USB メモリや CD-R などの電磁的記録媒体の利用を見直すべきである。 引き続き地域の力やボランティア等の恩恵を受けるだけではなく、地域の行事と共催するなど、相乗効果を高めたい。
	②学校運営協議会や司書教諭と連携したボランティア活動の充実	②図書ボランティアや司書教諭による読み聞かせの継続。草刈りや見守り隊の依頼を継続。			